

関東の駅百選認定駅へ： 騰波ノ江駅の歴史と新しい挑戦

平成25年に開業100周年を迎えた関東鉄道・常総線は、取手駅と下館駅の間を結ぶ総延長51.1kmの路線です。そんな常総線の駅のひとつ、下妻市にある騰波ノ江駅は、国土交通省が認定する関東の駅百選として認められています。

現在の下妻市の北東部から開城地区にかけて大きく広がる水田地域は、かつて「鳥羽の淡海」と呼ばれた湖でした。現存する日本最古の和歌集で詠まれるほどの美しさを称えたという鳥羽の淡海も時代の変遷とともに姿を消し、「騰波ノ江」と変化した地名だ

けが残りました。そういった名称の背景や当時の木造駅舎の懐古的な雰囲気を選定理由となり、平成12年関東を代表する百選の中心に名を連ねました。

その後、騰波ノ江駅は平成20年に駅舎の改築が行われ、無人駅となりました。愛好家独自の路線で路線活性化に取り組み、関鉄レールファンCLUB会長の十文字義之さんは言います。「駅としては待合室があれば充分なのかもしれませんが、でも、騰波ノ江駅は関東の駅百選として認められた場所。鉄道ファンだけでなく地域に響らす



関鉄レールファンCLUB
会長 十文字 義之さん

人たちの拠り所として活用していきたいと思えました」

そして新しくなった騰波ノ江駅に、新たな役割が与えられたのです。「駅舎の設計は旧駅舎と全く同じで、改札の位置や使っていた机、ガラスも再利用しています。事務室があった場所を新たに

ギャラリーとして開設し定期的にイベント開催も行っています」

そして平成26年11月、新たに誕生したのが、鉄道PRレディ・関鉄レール・メイイトです。一般公募で選ばれた彼女たちには常総線と竜ヶ崎線それぞれに担当路線が割り振られ、沿線環境が反映されたセカンドネームも名付けられました。

今回は、その関鉄レール・メイイト生みの親である十文字さんと、新旧関鉄レール・メイイトのお2人にお話を伺いました。

「巻頭特集」 私たち、ふるさととの鉄路と、街のイイところ伝えます！

関鉄レール☆メイイト

地域住民や鉄道ファンの拠り所としてギャラリーを併設している騰波ノ江駅。月1回のイベントには、関東鉄道常総線・竜ヶ崎線のPRレディ 関鉄レール・メイイトがアテンダントを務め、子供から大人まで幅広い鉄道ファンの心を掴んでいます。

平成27年11月には新メンバーへと交代し、更なる躍進が期待される彼女たちには、鉄道から地元を元気にするという重要なミッションがあります。女性が輝く社会に注目が集まる今日、その気持ちを取材しました。



多様化する鉄道の楽しみ方と 独特の感性を持った女性ファンの存在

これまで鉄道ファンと言えば男性が多くを占めている趣味というイメージがありますが、この数年で環境は目まぐるしく変化している。十文字さんは語りま

す。「愛用品といえば写真や鉄道模型が多かった頃に比べると、鉄道に関する情報も増え、撮り鉄、乗り鉄の他に駅弁を食べる巡る食べ鉄などという言葉が普及したのものあって、広く知られるようになった結果、女性の鉄道ファンも増えてきました」

そういった、列車に対して可愛

いと表現する感覚に、十文字さんは目をつけたと言います。「彼女たちのような存在は全国的にも珍しいんじゃないかと思うので、関鉄レール・メイイトに会いに来ることが来線するきっかけになったとしても、新しい目線と新しい感性で見たこと感じたことを発信し続けていけば、更に多くの人に興味を持っていただくことが出来るんじゃないかと信じています」

第2期メンバーになったばかりの美妻 純衣さんは、「私はまだ関鉄レール・メイイトとして活動を始めたばかりで、常総線のことや地元のことを会長や先輩方に教

えていただいたり、地元の方からお話を聞いたりしています。常総線に乗って下妻市を訪ねてきた方へ、地元らしいご案内が出来ると、頑張ってくださいです」と語りました。

性別や年代を問わず広く愛されるようになった反面、鉄道以外の交通手段も発達してきた昨今、騰波ノ江駅のレトロな駅舎を中心に、人のぬくもりにも触れ、懐かしい時代へ立ち返って過ごすのも貴重な時間と言えます。

関鉄レール・メイイトが掲げるミッションは、鉄道から地元を元気に盛り上げることです。鉄道会社と沿線の自治体、グループと協力をしながら、日本全国へ響かしていく線路のように人と人をつないでいく架け橋のような存在になっていくと強く感じました。



新日竜ヶ崎線担当メンバーの贈呈式。初着や名刺だけでなく、思いも贈ります。

「車両についで、幸せな瞬間を写真で撮りたいよ」

竜ヶ崎線は全長4.5kmというとても短い路線。通勤・通学の大切な足になっており、車内に自転車の持ち込みも出来ます。

電車に乗って、幸せな瞬間を写真で撮りたいよ

電線にはパンタグラフがない！

車両にディーゼルエンジンを積んで動いているため常総線は電車ではなく列車というのが正解の

水害を受けて一時は運休になりましたが無事復旧！

つくばエクスプレス

JR常総線

毎月第3土日 オープン！ とばのえステーションギャラリー

騰波ノ江駅舎内のギャラリーでは、関鉄レールファンCLUBメンバーが制作・展示しているNゲージの運転体験や、駅員の制服・制服貸与での記念撮影、開館日にしか入手出来ない広報誌「初志関鉄」配布など幅広い年代の鉄道ファンが楽しめる2日間！関鉄レール・メイイトもアテンダントとして登場します。



この区間は春になると桜や菜の花と撮影できる人気スポット！

大田 藤子

JR水戸線

下館

騰波ノ江

大宝

下妻

宗道 五村

石下

南石下 三妻 中妻 北水海道 水海道 小絹 新守谷

守谷

南守谷 戸部 稲戸井 新取手

寺原 西取手

取手

JR常総線

龍代

佐貫

入地

竜ヶ崎

電線にはパンタグラフがない！

車両にディーゼルエンジンを積んで動いているため常総線は電車ではなく列車というのが正解の

水害を受けて一時は運休になりましたが無事復旧！

つくばエクスプレス

JR常総線

駅舎を駅へのアクセスに利用する方も多いのでは？

取材協力
関鉄レールファンCLUB
会長 十文字 義之さん
TEL. 090-7260-6418
MAIL. jumonji@ryu-tsuv.com

とばのえステーションギャラリー
http://www.kantetsu.co.jp/event/gallery.html
※毎月第3土日のみ開催

【関鉄レール・メイイトの情報はこちら】
筑紫 紫穂 Twitter
https://twitter.com/fukudasaori

とばのえ駅の歴史を伝えるのも楽しい！